



私がホームを えらんだ理由



発行所
養護老人ホーム
延命園
長崎市寺町3-1
(095) 822-8563
(題字) 池田可宵先生



延命園には男性9人、女性41人の合わせて50人の利用者が生活しています。大正5年生まれが平均で82才です。今回は延命園に入所したそれぞれのわけ(由)を聞いてみました。

ボランティア交歓会のひとこま

・私は、ひとりで生活していましたが、寂しくて、ネコを飼っていました。ものは言わんけどニャーニャーと言って可愛かった。貧しかったけど必ず魚を煮つけて食べさせとった。足腰が悪いのに、トイレが外にあって辛かった。家主さんに立ち退きを催促されても住むところがなかったのに入ったとよ。

夜中に咳こんでもすぐ寮母さんが飛んできて、手配してくれるけん安心しとります。



どっちがべっぴん?

・目の見えんごとになったとき、娘に相談したら、ホームに入ったら?と言われてね。悲しかった。自分で市役所に手続きにいったとよ。(娘は他県)特別養護老人ホームは最初に見学したときにはベッドだった。うちは病人じゃなかって思うて延命園を見に来たら、タタミやったのでここに頼んだ。実母は7ヶ月間看病もしたとばってん。子どもは親の背中見て育つていうけど、あれはウソばい。

・お父さんの病氣(ぜん息)がひどくて、家は山のとっぺんにあって、お医者さんに来てはもらえんし。つれても行けん。あん時の心配でいうたら、何てかんで言われんやった。ばってん、今は

れんし。買物もしきらし生活すつとに困ってね。大分考えたとばってん。どんな体は弱るしね。兄と相談して決心したとよ。もつと早うくりゃよかった。園のことば牢屋のごとと思うとったと。

・2回脳梗塞の発作で倒れてね。左手のふるえて御飯は食べきらんし、膝は痛かして思案にくれとったたら、病院の人がホームに入ると勧めてくれて、来たとよ。



村上 進 86才

山中 キクヨ 84才

御厨 マサ子 68才

太田 ハツ子 68才

吉村 照 男 69才

調理の中村さん? 友だちは大事にしたい。

お正月の思い出

お正月が近づき、何となくせわしいこの頃です。延命園の利用者が、子どもの頃のお正月はどうだったのでしょうか。尋ねてみました。

昔は“女性は正月から外に出るもんじゃない”と言われていたもので、近所への挨拶まわりは父親が行っていた様です。“朝っぱらから外に出るもんじゃない”と言って、お昼過ぎから挨拶まわりをしたそうです。

現在では、大晦日から初詣に出かけたり、初日の出を見ようと、まだ暗いうちから家を空けることも特別なことではなくなってきました。皆様はどのようなお正月を過ごしていますか。
Mさんが幼い頃、お正月は着物を着て“こっぱり”をはいて過ごしていました。大晦日には、母親が用意してくれた新しい下着を枕元に置き、元旦にはそれを着てお正月を迎えました。

「子どもの頃は“あと〇日でお正月だ”と胸がドキドキした。Sさんにとって、まりを買ってもらうことは楽しみのひとつでした。当時、まりは大きければ大きい程家庭が裕福だと言われていて、Sさんの家は裕福ではなかったそうです。大きいまりを買ってもらって嬉しかった、と話していました。

このように、お正月は特別な日として心待ちにしていたようです。今では買いたい物はお金を出せば何でも買える時代。欲しい物を手にしたときの喜びの程がよくわかります。

お正月といえばお年玉。こんなお話も聞くことができました。
「最近では、子どもにお年玉を渡すと、中を見て“チッ”と顔をしかめる（金額が少なくて）子どももいるが、自分が小さかった頃は、もらえるだけでも嬉しかった。」

遊びでも大きな違いがあるようです。最近では、外で友だちと一緒に体を動かして遊ぶことより、家の中で一人テレビゲームなどをして遊ぶことが多くないでしょうか。男の子はハタ上げやこま回し、女の子は羽根つきをして遊んだこのころ

た。」

物にも……。昔は年末になると家に“餅つき屋さん”が来ていた。家で準備していたあんを中に入れてあん餅をつくっていたな。」

「小さい頃を台湾で過ごしたので、お正月といえば“台湾餅”を思い出す。餅米を臼でひいたものに砂糖を入れてせいろで蒸して、それを四角に切ったものを焼いて食べていた。砂糖が入っているから甘くて、少し黒っぽい色をしていた。それからお正月にはポンカンがあつた。ポンカンのおいをかぐと、昔のお正月を思い出す。重箱には黒豆やお煮しめ、数の子などが入っていた。昔は冷えにくいからと言って瀬戸物の重箱を使っていた。元旦には、それぞれのお膳に干柿とすめるめが乗っていた。」



いろいろなお思い出は食べ

「久しぶりに思い出して懐かしかった。」
「昔のお正月は良かったな……。」という声も聞かれました。一人にひとつずつ、胸にきゅんとくる思い出の数々……。
やがて来る新しい年が皆様にとって希望に満ちた輝かしい年でありますように。



10月
きたたり
九州電力様
(温水器寄贈)

ペンのしずく



こころ・学び・動き
—私が変わる・地域が変わる—をテーマに全国ボランティア学会が長崎市で開かれた。
純心大学の片岡学長の基調講演、長崎のキリンタン時代における
が変わる、地域がかわる(も)

- 5日 金子様 (散髪奉仕)
- 8日 松浦様 (カラオケ)
- 9日 大波止へ (長崎くんち招待)
- 中通りへ (お上り見物)
- 13日 掖済会病院様 (検診)
- 長崎市消防署様
- 18日 長寿フェスタへ (アリーナかぶとがに)
- 20日 くるみ会様
- 21日 センチュリーホテルへ (外食デー)
- 31日 長崎女子高校インターアクト様
長崎女子商業高校インターアクト様
- 毎週木曜 坂本様 (生花)
- 第1・3水曜 引地様 (大正琴)
- 毎週月曜 あじさいボランティア
上田様 (リボンフラワー)
- 毎週月・木曜 鈴木様
- 毎週月・金曜 福田様